

第2回横浜市都筑区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会議事録	
日 時	令和2年4月22日（水）午後1時00分～午後2時10分
開催場所	都筑区役所6階大会議室
出席者	小林達夫委員、坂田信子委員、竹森順一委員、辻田むつ代委員（五十音順）
欠席者	村井祐一委員
開催形態	公開（傍聴者なし） ※面接審査については、非公開
議 題	申請団体のプレゼンテーション及び審査
決定事項	指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）として、次のとおり、横浜市都筑区長に報告することとする。 横浜市都筑区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会
議 事	<p>1 開会 選定委員5人中4名が出席。過半数を超えているため、本委員会は成立。 委員長の村井委員が欠席のため、委員長職務代理者の辻田委員が委員長を務めることとした。</p> <p>2 会議の公開・非公開について 第1回選定委員会で決定したとおり、申請団体のプレゼンテーション及び審査については非公開とすることを確認。</p> <p>3 申請団体の審査方法等について （事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請団体のプレゼンテーションの流れ及び採点方法等について説明した。 ・ 選定方法について、最低制限基準の60%の計算については、評価項目の「7前期の指定管理業務の実績」を含めないとする事、最低制限基準に満たない場合は再選定を行うことを確認した。 <p>（申請書類による報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請団体の役員名簿による暴力団関係者の有無について、排除措置対象に該当なしを報告。 ・ 申請団体の市税滞納の有無について、滞納なしを報告。 ・ 申請団体の財務諸表による法人財務状況結果を報告し、税理士である竹森委員から財務状況の評点及び理由について説明があった。 <p>4 面接審査について（プレゼンテーション 15分、質疑応答 15分） 申請団体：社会福祉法人 都筑区社会福祉協議会</p> <p>【主な質疑応答】</p>

	<p>(委員) 障害児の通学支援を行う、ガイドボランティアの登録状況及び移動情報センターの運営等の状況はどうなっているのか。</p> <p>(法人) 現在、ガイドボランティアの登録者は約50名となっています。実際に活動している方は約6割程度ですが、活動できない方については、時間帯や場所が合わないことによるところが大きく、都筑区の方の支援に関する意識の高さを感じることができます。</p> <p>移動情報センターの運営等の状況については、専用電話・窓口にて月曜から土曜まで、常勤1名、非常勤2名の体制により、ガイドボランティアの調整や、場合によっては、ガイドヘルパーの事業所へ繋ぐ等のニーズに合った対応を行っています。</p> <p>(委員) 区民が利用する施設を管理する立場として、どのような点に気を使っているか。</p> <p>(法人) 施設の老朽化に伴う修繕のほか、来館者の要望や窓口満足度調査の結果を受けて、利用者の方が使いやすい施設となるよう改善を検討し、限られた予算の中で、優先順位を付けて対応しています。</p> <p>5 指定候補者の決定</p> <p><最低制限基準：60%以上></p> <p>申請団体：社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会</p> <p>総得点：645点／880点</p> <p>最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。</p> <p>(審査講評)</p> <p>福祉保健活動拠点の周知を様々な方法で行っており、拠点の利用促進に積極的に取り組んでいる。また、貸館の利用団体同士の交流会を通じて利用者の細かいニーズにまで対応するなど、拠点運営を利用者目線で行っている点は評価できる。</p> <p>また、ボランティア活動支援の研修の実施やボランティア情報の発信など、ボランティア活動の普及拡大に広く取り組んでいることが感じ取れる。</p> <p>次期についても、これまで培ってきた拠点運営の経験・実践をもとに、ボランティアの育成・支援や様々な主体によるネットワークづくりなど、これまで以上に地域の先頭に立ち地域福祉保健を推し進めて欲しい。</p>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定候補者となった法人については、選定委員会委員長から区長へ報告を行い、法人に通知する。 ・ 選定結果は都筑区ホームページに掲載する。 ・ 委員会の議事録は議事の要旨を都筑区ホームページに掲載する。